

文化プログラムの実施に向けた日本芸術文化振興会（国立劇場）の取組

外国人のための鑑賞教室公演（Discover公演）

概要

舞台鑑賞前に外国語による解説を行う【Discover公演】を実施し、さらに観劇を補助するための音声ガイドサービス、解説書等を多言語で提供

29年度実施状況



平成28年度「Discover KABUKI」解説の一場面より

ジャンル	日程等	演目	多言語対応
歌舞伎 【国立劇場大劇場】	6/16(金) 14時半 18時半	解説「歌舞伎のみかた」 『歌舞伎十八番の内 毛抜』	音声ガイド(英・中・韓・西) 解説書(英・中・韓・西) 舞台解説進行: 中村隼人(歌舞伎俳優)・木佐彩子 英語字幕
人形浄瑠璃文楽 【国立劇場小劇場】	12/18(月) 19時	解説「文楽の魅力」 『傾城恋飛脚』	音声ガイド(英・中・韓・西) 解説書(英・中・韓・西) 舞台解説進行: ダニエル・カール 英語字幕
人形浄瑠璃文楽 【国立文楽劇場】	6/17(土) 14時	『二人禿』 解説「文楽のいろは」 『仮名手本忠臣蔵』	音声ガイド(英) 解説書(英・中・韓・西・仏) 舞台解説進行: 茂山童司(狂言師) 英語字幕
能・狂言 【国立能楽堂】	6/23(金) 19時	解説「能楽のたのしみ」 『附子』『黒塚』	字幕表示※(英・中・韓) 解説書(英・中・韓・西・仏) 舞台解説進行: リチャード・エマート(能楽研究者)
組踊 【国立劇場おきなわ】	11/18(土) 14時	第一部「組踊の楽しみ方」 第二部 組踊『二童敵討』	音声ガイド(英・中・韓) 入門パンフレット(英・西・葡) 舞台解説進行: 岸本隼人(組踊立方)

☆公演に関連したワークショップ等も一部開催。

※能楽堂の字幕表示は座席に据付

☆6月歌舞伎鑑賞教室期間内(6/17~24)「Multilingual Week」音声ガイド(英・中・韓・西)【有料】 解説書(英・中・韓・西) ※29年度より

歌舞伎・文楽等のイロハを出演者が舞台上でわかりやすく説明する「解説」(約30分)と、初めての鑑賞に適した「名作・名場面の上演」(約60~90分)を組み合わせたプログラムを、外国人向けにアレンジして上演。「解説」では英語に堪能なタレント等を起用し、本編では英語、中国語、韓国語等の音声ガイドやポータブル字幕表示等で上演内容の理解促進を図っている。平成27年度の歌舞伎を皮切りに、28年度から文楽、能楽、組踊でも実施。

その他の事業

劇場情報の多言語化等の推進	28年度	29年度実施予定
ユネスコ無形文化遺産コンテンツの多言語化(英・中[簡体・繁体]・韓・西・仏・独) 「能楽・文楽・歌舞伎への誘い～鑑賞の手引き～」	文楽編	能楽編
『文化デジタルライブラリー』舞台芸術教材の英語版作成	雅楽編	文楽編



ユネスコ無形文化遺産コンテンツ「文楽への誘い～鑑賞の手引き～」



文化デジタルライブラリー「舞台芸術教材～雅楽編～」

公衆無線LANサービス整備 29年5月運用開始

日本芸術文化振興会 全劇場施設で実施



国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・
国立文楽劇場・伝統芸能情報館



国立劇場おきなわ



新国立劇場

29年度「beyond2020プログラム」申請イベント数

日本芸術文化振興会	数	国立劇場おきなわ運営財団	数	新国立劇場運営財団	数
国立劇場	34	国立劇場おきなわ	36	新国立劇場	28
国立演芸場	51	※日本芸術文化振興会、国立劇場おきなわ運営財団、新国立劇場運営財団、それぞれが行う自主企画事業を1件として一括申請し、認証された。 (認証件数 3件、イベント数 合計252件)			
国立能楽堂	50				
国立文楽劇場	36				
伝統芸能情報館	17	※イベント(自主企画事業)は、原則として文化庁による認証開始(5/26)以降のすべてのイベントを申請している。			



外国人のための能楽ワークショップ